

(特非) おおいた環境保全フォーラム

ベッコウトンボから学ぶ持続可能な湿地生態系保全プロジェクト 「生物多様性を指標とした生態系ネットワークの構築」

イベントの 延べ参加者数	1,580 人
地域セミナー 参加者	150 人
活動の全体目標 に対する達成度	90%



市民参加型生物多様性調査の様子

◆成果と工夫したポイント

●成果

生物多様性保全の普及啓発のために開催した生物多様性シンポジウムは市民 120 人、生物多様性地域セミナーには地域住民を中心に 156 人が参加した。生物多様性モニタリング調査には地域住民 1,080 人が参加。

●工夫

地域環境の課題の共有と地域住民との信頼関係の構築を心掛け、自治会行事への積極的な参加を行った。

課 題

荒廃が進み、生物多様性が危惧されている里山地域の住民主体による、生物多様性広域ネットワークを構築し、生態系の利用と保全のための持続可能な仕組み作りが、危急の課題。

目 標

広域的な地域連携を図るため、生物多様性をテーマとしたシンポジウムや地域啓発セミナーを開催するとともに、大分市東部全域に生物多様性の保全を目的とした地域保全体制を構築し、広域連携生態系ネットワーク形成を図る。

活動内容

課題解決に向け、生物多様性保全の普及啓発のためにシンポジウム及び地域セミナーを開催した。また、生物多様性協働活動として市民参加型生物多様性調査を、地域固有種「オオイタサンショウウオ」を指標とした外来種の影響評価を兼ねて、地域住民主体で実施した。生態系ネットワーク構築を目標とする、広域連携協議会の設立のための 5 地区協働による生物多様性モニタリング調査を実施し、協議会設立の動きが加速した。

達成できなかったこと

広域的な地域連携による生態系ネットワーク形成のための広域連携協議会の設立を当初目標としたが、今一步のところまでできたが、時間が足りなかった。今後に期待したい。

今後の展望

今後も生物多様性の普及啓発活動と、広域連携協議会の設立に向けた活動には、積極的に関わっていく所存である。



生物多様性地域
セミナーの様子